

日本南アジア学会第 35 回全国大会に参加

堀内 みどり

標記大会が、9月24日、25日に帝京大学八王子キャンパスを会場として開催された。共通論題として「新型コロナウイルスと南アジア」が開催校の三輪博樹帝京大学法学部教授を座長として企画され、佐藤創「インドにおける『ロックダウン』の法的根拠」、上池あつ子「医薬品のグローバルサプライチェーンの再編とインド」、日下部尚徳「成長と貧困のバンゲラデシュグローバル経済の末端で顕在化した社会基盤の脆弱性」、中村友香「ネパールにおける COVID-19 と生活世界の再編」、Udei Appuhanmilage 「“Disciplining the Sick: The Military and Pandemic Governmentality in Sri Lanka”」の発題があった。COVID-19 によって何が露わとなって、何が課題となっているかがそれぞれの生活世界との関連で述べられた。他に、パネル発表4、自由論題（個人）25の発表があった。また、24日の総会では、全国大会、事務局、選挙などのオンライン化の内容・実施などが報告され、会費納入のオンライン化に続き、学会運営のシステム再構築・簡便化のための方策が進んでいることが示された。

2022 年度第 2 回伝道研究会（10 月 20 日）

「ヨーロッパ出張所の現状と課題—2012 年以降の活動と御用環境の変化」

長谷川 善久

本研究会では、まず初めに、ヨーロッパ出張所、天理日仏文化協会、英国連絡所、またヨーロッパの各地に点在する教会、布教所、直属拠点や現在のヨーロッパの教勢についてそれぞれ簡単に紹介した。そのうち、出張所のさまざまな活動に関して、教化・教育、育成、つなぎ、においがけ、広報、社会活動、文化活動などの項目ごとに分けて説明した。

後半では、出張所創立 40 周年の際の真柱様のお言葉にみる出張所の使命について考察。出張所の使命とは何であるのか、その使命を達成するためにどのようなことが大切であるのか、現在の環境下において具体的にどのようなことを推し進めていくべきかなどについて常日頃考えていることを述べた。

質疑応答においては、現在抱えている、特に人材、財政、現地主導といった課題に関してどのような解決先があるのかなど、活発な意見交換が行われた。

2012 年にヨーロッパ出張所の所長を拝命してから 10 年以上が過ぎた。この研究会の発表を準備するなかで、これまでのフランスにおける自分自身の歩みや本部拠点の諸活動の歴史と現状を振り返るとともに、今後のヨーロッパ出張所の課題についても検討することができた。

宗教倫理学会第 23 回学術大会に参加

堀内 みどり

標記大会が 10 月 29 日オンラインで開催された。大会運営は事務局を中心にして行われ、堀内は後半 2 つの研究発表の司会を務めた。研究発表は 4 名だった。午後の公開講演会は、事前申し込みの手続きの上、オンラインで開催された。司会を氣多雅子会長が務め、鎌田東二京都大学名誉教授が「神道における場所と『世間』」と題して基調講演を行った。宮本要太郎関西大学教授と鬼頭葉子同志社大学准教授のコメント及び質問の後、参加者を交えての質疑応答となった。鎌田氏は「世間」とは「<sup>えな</sup>胞衣」のような被膜であるというのが、生命論的に見た世間観ではないかと考えるとした上で、『古事記』や『日本書紀』など豊富な資料を紐解き、こうした感覚や思考は、すでに『古事記』の国生み神話に端的に現れていると指摘した。そして、<sup>あらわ かくり</sup>顕と幽、場の宗教としての神道と神社や記紀神話や「<sup>くまきこととひ</sup>草木言語」、天台本覚思想の「双木国土悉皆成仏」までに被膜連鎖があると述べた。さらに『古今和歌集』仮名序で紀貫之が展開した和歌の哲学にもこれを読み取ることができるとし、世間の理解にはこの胞衣の世間観のありようの意味を探る必要があると解説した。

## 2022 年度公開教学講座のご案内

### — 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ (8) —

2022 年度の公開教学講座は、オンラインで配信しております。

オンライン配信中

- 第 1 回 5 月 永尾教昭所長 151 話「をびや許し」
  - 第 2 回 6 月 澤井真研究員 111 話「朝、起こされるのと」
  - 第 3 回 9 月 岡田正彦研究員 139 話「フラフを立てて」
  - 第 4 回 10 月 八木三郎研究員 108 話「登る道は幾筋も」
  - 第 5 回 11 月 森洋明研究員 119 話「遠方から子供が」
- 今後の配信予定
- 第 6 回 1 月 堀内みどり主任 126 話「講社のめどに」

グローバル天理

第 23 巻 第 12 号（通巻 276 号）

2022 年（令和 4 年）12 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion  
Tenri University

発行者 井上昭洋

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail [oyaken@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:oyaken@sta.tenri-u.ac.jp)

印刷 天理時報社

Printed in Japan